

科目名	人間論と現代思想					開講 キャンパス	神 埼
担当者	井 本 浩 之						
開講年次	1	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	選択必修
授業の概要 及びねらい	この講義では、「人間とはなにか」という根本的な問題を西洋近現代の思想を通して探る。人間の尊厳や自立といった論点を理解するには根本的な人間理解が必要である。まずデカルトの「意識存在としての私（コギト）」と「機械としての身体」の理解を通して、科学が前提としている西洋近代の「心身二元論」の理解をはかる。ついで、その難点を紹介し、心身二元論的な人間理解の限界を明らかにする。最後に統一的な人間像を把握する試みとして「身体としての私」という人間理解に進み、それが意味する諸帰結を考察する。その帰結のうちには、介護や看護といった他者の身体への接触を行うことの意味も含まれる。それらの職における人間の尊厳保持・自立支援等の意味についても考察したい。						
授 業 の 到達目標	・デカルトの心身二元論について説明ができる。 ・二元論的心身論の難点について説明ができる。 ・二元論的人間理解の諸帰結について説明ができる。 ・統一的な人間像について説明ができる。						
学習方法	パワーポイントを用いた講義により行う。教材となるDVD鑑賞を行う。双方向型の授業を行う。ノートを用いて授業を再現できるよう努めてください。						
テキスト及 び参考書等	使用しない						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等							
宿題・授業外レポート	◎	◎					60
授業態度			○				20
受講者の発表							
授業への参加度			○				20
その他							
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	1. 哲学的な問いの立て方						
第 2 週	2. こころは何処にあるの？						
第 3 週	3. 機械の中の幽霊						
第 4 週	4. 「こころ」と「脳」は同一か？						
第 5 週	5. 科学と形而上学						
第 6 週	6. デカルトの真理論						
第 7 週	7. コギト						
第 8 週	8. 精神と身体						
第 9 週	9. 実体二元論						
第 10 週	10. デカルト心身論の難点						
第 11 週	11. 身体としての私						
第 12 週	12. 他者の身体						
第 13 週	13. 人間理解と倫理						
第 14 週	14. 講義の復習とまとめ						
第 15 週	15. まとめ（試験を含む）						
第 16 週							
備 考	【授業外学修について】 授業に作成したノートをよく読み直し、授業を再現できるノートづくりを毎回行うこと。各回終わりに課題を課すので、次の授業時までによく考え、自分なりの回答を用意しておくこと。						